



ハ戸★トピックス

ハ戸公園こどもの国遊園地

- ▶開園期間…4月1日(火)～11月9日(日)9時～16時45分(閉園17時)
 - ▶場所…ハ戸市十日市字天摩33-2
 - ▶休園…月曜(休日の場合は翌日) ※4月は7日(月)以外開園
- はちのへ公園春まつり
- 約2,000本の桜が咲き誇る県南最大級の春まつりです。満開の桜を眺めながらの散歩を楽しみませんか。
- ▶期間…4月29日(火)～5月6日(木)
 - ▶内容…歌謡ショー、ジャズ演奏など※桜の開花に合わせた恒例の出店先行オープンは、4月12日(土)からになります
- 問ハ戸公園 ☎0178-96-2932

News +

厚生労働大臣表彰を受賞

久慈市保健推進委員連絡協議会が、公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰を受賞しました。

同協議会は、特定健診の受診率向上のため、地域での声かけや脳卒中に関するパンフレットを配布。ゲートキーパーとしても活動し、心の健康づくりに尽力したことが評価されました。

川代一枝会長は「減塩や運動などの習慣は身につけば無理なく続けられます。今後も地域やイベントで健康寿命の大切さを伝え、啓発活動に力を注ぎます」と決意を新たにしました。



遠藤市長に受賞を報告する川代一枝会長

地域で学ぶ災害への備え

NEWS

小袖小学校3.11防災集会



児童と大人と一緒にテントを設営

3月11日、東日本大震災の教訓を次世代に生かすことを目的に、小袖小学校で初めて防災集会が開催されました。児童や地域住民ら約40人が参加。マットを使ったプレート運動による津波の発生メカニズムの学習や避難所の開設訓練などを行いました。

避難所の開設訓練では、参加者全員で配置を考えながら、テントや段ボールの簡易ベッドを組み立ててホールに設置。運営側と避難者側に分かれ、出し係などペットを飼っている家庭や体調不良者などを想定しながら、避難者を受け入れました。最後に、お互いの反省点や改善点を話し合い、災害への備えと迅速な対応について理解を深めました。

保健係を担当した3年生の大向夏帆さんは「次々に来る避難者を、自分で考えながら対応しなければならぬと思いました」と振り返りました。



足が不自由な役の人を誘導する大向夏帆さん

ドを組み立ててホールに設置。運営側と避難者側に分かれ、出し係などペットを飼っている家庭や体調不良者などを想定しながら、避難者を受け入れました。最後に、お互いの反省点や改善点を話し合い、災害への備えと迅速な対応について理解を深めました。

保健係を担当した3年生の大向夏帆さんは「次々に来る避難者を、自分で考えながら対応しなければならぬと思いました」と振り返りました。

震災を知らない世代へ伝えていく

NEWS

東日本大震災復興祈念式・一般社団法人久慈青年会議所「鎮魂と希望の灯り～今、私たちにできること」



あいさつをするさかなクン

震災から14年目を迎えた3月11日、アンバーホールで東日本大震災復興祈念式を開催。復興の歩みを振り返るとともに、今後の発展と防災意識の向上を誓いました。

もぐらんぴあ応援団長のさかなクンがあいさつの中で、講話で訪れた平山小学校について触れ「震災を知らない子どもたちが震災について真剣に学ぼうとする姿に胸が熱くなりました」と次世代への思いを語りました。

式では、地域住民が互いに助け合う共助の要となる自主防災組織として、新たに認定された6団体に認定書を交付。3月11日時点の組織数は計69団体、組織率は79%となりました。



防災グッズをみんなで確認

同日、一般社団法人久慈青年会議所がJ.C公園で追悼イベントを開催。約700個のろうそくを灯し、黙とうを捧げました。元木沢公民館では小中学生を対象に震災の伝承と防災グッズの紹介を初めて開催。当時の映像や市内当事者のインタビューを見て震災を振り返りました。

黒沼亮太会長は「災害はまた必ず起こるので、記憶を伝えて、災害に備えるきっかけにしてほしいです」と思いを語りました。イベントに参加した久喜小学校5年の久世芽依さんは「防災グッズを準備しておいたほうがいいと改めて感じました」と表情を引き締めました。

高校生の探究心が形に

NEWS

久慈東高校環境緑化系列が開発した白樺のめぐみしいたけ佃煮



販売会で商品を説明する生徒ら

久慈東高校環境緑化系列の生徒と合同会社プロダクション未知カンパニーが、久慈市産の白樺樹液とシイタケを使用した「白樺のめぐみしいたけ佃煮」を共同開発しました。

生徒らは、白樺林の高齢化とその保全・活用が課題であることを知り、自分たちでできることを模索。シイタケを校内で栽培していたことから白樺樹液を組み合わせた商品



パッケージと商品

販売は、同社HPのネットショップのほか道の駅いわて北三陸とくじやませ土風館でも随時販売されます。

商品開発ストーリー紹介動画



商品開発ストーリー紹介動画

を考案し、開発に着手しました。洋野町の食品加工会社からレシピや調味料の配合割合のアドバイスを受け、試食会を重ね商品が完成しました。

3月2日、生徒5人がJR盛岡駅で販売会を実施。名古屋から観光で訪れた稲垣みさ子さんは「おつまみやご飯のお供にぴったりです」と語り購入しました。

健康は元気な歯から

NEWS

イー歯トープ8020コンクール表彰状伝達式

80歳以上で自分の歯が20本以上ある人を表彰する、イー歯トープ8020コンクールの表彰状伝達式が2月19日に元気の泉で行われました。

受賞者の田澤正五郎さんは「日々の生活習慣が歯の健康につながります。これからも歯と全身の健康を保つよう努力します。」と述べました。

受賞した人は次のとおりです。(順不同、敬称略)

▼田澤正五郎、佐々木和好、八屋ミヨ子、古館節子、小向淳輔、新井谷マツエ、石川京



表彰状を手に笑顔の受賞者

子、畑田毅、大久保良一、鈴木明彦

北三陸を味わうイベント

NEWS

北三陸DELI



ケースに並ぶデリを買求める来場者

2月22日から24日にかけて、道の駅いわて北三陸で北三陸DELIが開催されました。洋野町から田野畑村までの北三陸5市町村の飲食店12店舗

が開発した総菜を販売。販売開始から多くの人が詰めかけ、各日用意された345食が完売しました。23日には、5市町村の食を体験できるコーナーも設置。来場者は普代村のわかめしゃぶしゃぶや白樺樹液の試飲などを体験し、北三陸の食を楽しみました。

そば打ちを体験した花巻市の小学3年生、三浦凛太郎さんは「初めての体験でそばをこねるのが楽しい！家族と一緒に食べたいです」と満足げな表情を浮かべました。